

2020 年度 京都市立芸術大学大学院美術研究科 修士課程入学試験（美術史）

- I. 以下に図版を挙げた①、②、③、④、⑤の作品のうち **3 点** を選び、可能な限り 作者名、制作された時代、美術史上の意義等を挙げつつ、作品の記述と説明 を行いなさい。

(各 10 点、30 点)

ジャン＝オーギュスト＝ドミニク・アングル  
《グランド・オダリスク》  
パリ、ルーヴル美術館

①

レオナルド・ダ・ヴィンチ  
《モナリザ》  
パリ、ルーヴル美術館

②

ジョルジュ・ド・ラ・トゥール  
《大工の聖ヨセフとイエス》  
パリ、ルーヴル美術館

③

ロヒール・ファン・デル・ウェイデン  
《十字架降架》  
マドリッド、プラド美術館

④

アルノルト・ベックリン  
《死の島》  
バーゼル市立美術館

⑤

- II. 次に挙げる美術史上の様式・歴史区分から2つを選び、それがいつ頃かを明記し、その時代の特徴と重要な作家、作品等を挙げつつ、解説を書きなさい。

(各10点、20点)

- A. ゴシック      B. キュビズム      C. 盛期ルネサンス      D. ロマン主義  
E. ギリシャ美術      F. マニエリスム

III. (1) で挙げた芸術家を、それに対応する (2) の用語と結びつけて、番号とアルファベットで答えなさい。(各 2 点、20 点)

- (1) ① ギュスターヴ・クールベ  
② クロード・モネ  
③ クリスト&ジャンヌ・クロード  
④ フランツ・マルク  
⑤ ウィリアム・モリス  
⑥ ジュール・パスキン  
⑦ グスタフ・クリムト  
⑧ ヨーゼフ・ボイス  
⑨ ジャコモ・バッラ  
⑩ ピエト・モンドリアン

- (2) a アーツ・アンド・クラフツ  
b エコール・ド・パリ  
c 写実主義  
d 未来派  
e 新造形主義  
f 青騎士  
g アース・ワーク  
h 分離派  
i 印象派  
j 社会彫刻

IV. 以下の設問に簡潔に答えなさい。(各 15 点、計 30 点)

1. 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて、日本美術がヨーロッパの美術界で話題となり、大きな影響を与えました。この潮流を何と呼びますか。また、同現象の美術の分野における主な作家を一人あげ、その作品の特質について簡潔に述べなさい。

2. 1990 年代後半より広く概念が流布し、広く見られるようになった「リレーショナル・アート」について、その特色を具体例を挙げながら述べなさい。